

京都府山城広域振興局では、森林整備と木材利用を進めるため、管内の林業事業者等の職員や作業班員を対象に、主に間伐材の搬出に必要な知識と技術を普及する研修会を開催しています。

●森林作業道の作設研修

日 時：平成29年9月13日（水）～10月10日（火）

場 所：木津川市山城町三上山

参加者：森林組合作業班等6名

森林組合等の若手作業班を対象に、間伐材の搬出に必要な森林作業道の作設技術を普及するために開催しました。山城地域の森林整備に技術的・経済的な支援を継続するサントリーホールディング(株)と共催し、同社から講師派遣された清光林業(株)（奈良県）岡橋氏、北はりま森林組合（兵庫県）是常氏から高いレベルの指導を受けることができました。



●高性能林業機械を使った搬出作業研修

日 時：平成29年10月18日（木）～10月20日（金）

場 所：木津川市山城町三上山

参加者：森林組合作業班等6名

山城地域では、間伐材の搬出作業で伐倒・造材にチェーンソー、集材にグラップルを使うことが一般的です。この研修では、造材作業を高性能林業機械（ハーベスタ）で行い、機械操作の習得とあわせて円滑な連携作業のための作業手順検討を目的としました。



●グラップルを使った搬出作業の研修

日 時：平成31年3月1日（金）～3月20日（水）

場 所：木津川市山城町三上山

参加者：森林組合作業班等7名

平成31年4月の森林経営管理法の施行等により、今後の山城地域で木材搬出作業に従事できるオペレーターを早急に育成する必要があり、基本となるグラップル操作技術を普及するため開催しました。また、山城地域では、木材の搬出作業を見る機会が非常に限られているため、この研修会と併せて、地元役員や市町村、森林組合の職員、地元小学生を対象とした見学会を開催し、森林整備の推進への理解を得られるよう努めました。



●森林作業道開設技術の研修

日 時：令和2年2月25日（火）～28日（金）

場 所：木津川市山城町平尾奥山

参加者：山城地域の林業事業者等の作業班8名

間伐材を搬出し利用を高めるため、汎用性の高い重機（3tクラスのバックホウ）を使用して耐久性の高い森林作業道（大橋式作業道）を開設する技術について学びました。



●間伐材の造材等にかかる研修

日 時：令和2年3月25日（水）～26日（木）

場 所：木津川市山城町平尾奥山、(株)北桑木材センター（京都市右京区京北町）

参加者：山城地域の林業事業体等の作業班9名

間伐作業現場と木材市場で研修を実施し、搬出する間伐材からできるだけ多くの収益を得るため、木材の材質を見定めるポイントや伐採現場での作業の留意点、造材方法や材質による仕分けの考え方を学びました。

